

女性タレントの始球式で、中学生たちが大集団で襲い掛かり集団痴漢

これは、僕が中学生のときに経験した話です。野球のリトルシニアのチームに所属していました。

ある大会があって、その始球式に女性タレントがやってきました。

そのタレントは、野球を昔やっていたようで、野球好きの女性タレントとして、いろいろな番組に出ていました。

水着グラビアとかもやっていてスレンダーな体は、なかなか刺激的でした。

そんな女性タレントが目の前にいて、始球式をする。

僕の胸は高鳴っていました。

僕はこのタレントが始球式にくると知ってから、わざわざ写真集を買いました。

きわどいビキニの水着や手ブラの写真もありました。

何度かオカズに使わせてもらった女性タレントが目の前にいる。

僕の期待値はどんどん高まっていきました。

始球式をそのタレントが行う日の当日。

女性タレントは、上はジャージで、キャップをかぶっていました。

下は、白の短めのホットパンツみたいなやつで、生足がむき出しでした。

ムチムチの生足を眺めているだけでも、そそのものがありました。

女性タレントが始球式をする回りを取り囲むように中学生がいます。

僕たちのチームは一番前にいました。

全部で 200 チーム以上、2000 人以上の中学生が女性タレントを取り囲むという、ちょっと異常な状態でした。

女性タレントが始球式を始めます。

さすがにいい球を投げて、ノーバンでキャッチャーに届くのはもちろん、ストライク投球でした。

「素晴らしい投球でした。ただ今の投球、球場の球速表示は 126 キロでした」

球場の女性のアナウンスが球場全体に響く。

投球を終えて、観客から拍手が沸き起こっていたとき、じわじわと後ろの方から押され始めました。

僕は危ないかと、倒れそうになりながら、前のめりになりました。

「選手は元の位置にお戻りください」

女性がアナウンスする。

その後も、じわじわと押され続けます。

「選手は元の位置にお戻りください」

さっきと同じアナウンスが再度される。

自分たちの後ろだけでなく、すべての所で同じように中学生たちがじりじりと女性タレントににじり寄っています。

そして、せきを切ったように、中学生たちが女性タレント向かって雪崩れ込んでいきました。

僕たちのチームは先頭にいたので、押し出されるような感じになりました。

どんどん前へ押し出されて、ついに女性タレントの体に触れてしまいました。

そのまま、後ろから押しつぶされます。

「大変危険ですので、元の位置にお戻りください」

アナウンスがぼんやりと聞こえたけど、回りから押しつぶされるようなかたちなので、その声も消え消えにしか聞こえてきません。

暴徒と化した中学生たちは、ついに女性タレントの身体を触り始めました。

胸やおしりや股間を容赦なく無数の手が触りまくっています。

僕は押しつぶされないよう耐えるので必死だったのですが、この際だから、自分も触ってやろうと思って、おっぱいをジャージの上から思いつきし揉み倒してやりました。

思ったよりも固い感触でした。

それでも女の人のおっぱいを触るなんて、このときが初めてでした。

ついには、服を脱がそうとするやつもでてきました。

上のジャージも下のホットパンツも脱がされかかっています。

僕はその間も、後ろから押されてしまい、ついに自分の顔が女性タレントの顔と重なってしまいました。

首の後ろあたりに、僕の唇が触れていたのですが、女性タレントがこちらの方を向きました。